

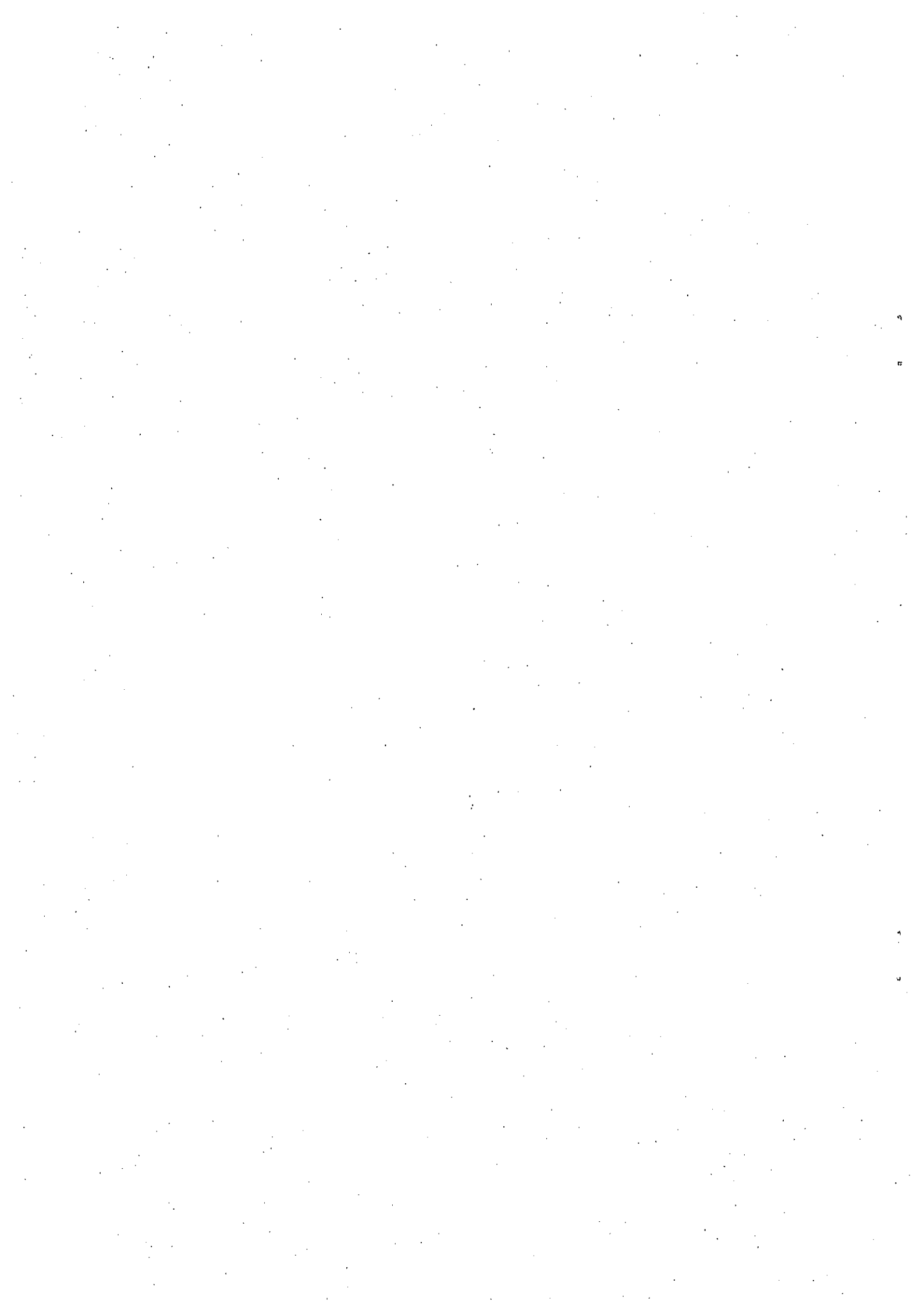
総務教育常任委員会資料

(平成30年2月23日)

〔件名〕

- ・ 第4回県有施設・資産有効活用戦略会議の開催結果について
【業務効率推進課】・・・1
- ・ 鳥取県PPP/PFI推進地域プラットフォーム設置準備会の開催結果
について
【業務効率推進課】・・・2
- ・ 部落差別解消のための具体策の検討状況について
【人権・同和対策課】・・・3
- ・ 首都圏アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」の運営について
【東京本部】・・・4

総 務 部



第4回県有施設・資産有効活用戦略会議の開催結果について

平成30年2月23日
行財政改革局業務効率推進課

県有施設・資産の適正管理、戦略的活用の方策などを検討するため設置している「県有施設・資産有効活用戦略会議」の平成29年度第4回会議を下記のとおり開催しました。

記

- 1 日時 平成30年1月23日(火) 午前10時～11時
- 2 場所 県庁第4応接室
- 3 出席者 副知事(座長)、各部局長等
- 4 概要

(1) 県営発電施設改修・運営へのPFI・コンセッション方式導入検討について

○県営発電施設改修・運営について、「鳥取県PPP/PFI手法活用の優先的検討方針」(以下「優先的検討方針」)に基づき、PFI手法導入の第二次検討(外部コンサルタントによる導入可能性調査結果を踏まえた検討)を実施した。

⇒その結果、小鹿第一・第二発電所の改修について、PFI手法を導入し、運営権対価の設定に留意の上、両発電所と合わせて春米発電所の運営に対してコンセッション方式の導入を検討することが有効と判断した。

・平成30年度に実施予定のPFI支援業務委託(平成30年度当初予算案:コンサルタント経費168,072千円(H30～H32継続費))の中で、直営での運営よりも、コンセッション方式の導入が県の財政上、メリットがあることを確認の上、平成30年5月頃までに事業者の募集手続の準備に入る予定。

・昨年11月県議会の議論を踏まえ、日野川第一発電所のリニューアル事業の事業性を検討し、FIT認定を前提に採算性が見込めるのであれば、PFI・コンセッション方式の導入対象に加える。(FIT認定を受けても採算性が見込めなければリニューアルの是非も含めて別途検討)

(2) 西部総合事務所福祉保健局整備への民間活力導入検討について

○老朽化した西部総合事務所福祉保健局(米子市東福原)の西部総合事務所敷地内(同市糶町)への整備(移転新築)について、「優先的検討方針」に基づくPFI手法導入の第一次検討(庁内での定量評価及び定性評価)を実施した。

⇒その結果、①PFI手法を導入し庁舎を整備した場合、②西部総合事務所敷地内に定期借地で民間ビルを建設させ、テナントとして入居する場合、いずれも直営整備と比較して一定程度のコスト縮減が可能であるため、民間活力の導入が有効であると判断し、第二次検討に向けてPPP手法導入可能性調査(平成30年度当初予算案:コンサルタント経費4,000千円)を実施することを決定した。

※②に関し、米子市の機関の入居や、更にはまちづくりの視点をもって検討することが必要との意見があった。

(3) 公の施設の管理運営の見直しについて

鹿野かちみ園・第二かちみ園、皆生尚寿苑の3施設について、不動産鑑定結果に基づき、地方債償還終期を待たずに有償譲渡した場合、起債繰上償還により逸失する交付税措置額よりも売却収入が上回ることが見込まれることから、平成31年度に向けて、福祉施設としての譲渡条件、譲渡時の支援体制等を検討していくことを報告した。

PPP…Public Private Partnership の略。官民連携のこと。公共的な社会基盤の整備や運営を、行政と民間が共同で効率的に行おうとする手法をいう。(PFIもPPPの一手法)

PFI…Private Finance Initiative の略。公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法をいう。

コンセッション方式…PFI法に基づき、民間事業者に運営権を設定の上、当該民間事業者が利用料金を徴収して公共施設の運営等を行う方式をいう。

FIT…Feed-in Tariff の略。再生可能エネルギー固定価格買取制度のこと。再生可能エネルギーで発電した電気を電力会社が一定価格で一定期間買い取ることを国が約束する制度をいう。

鳥取県PPP／PFI推進地域プラットフォーム設置準備会の開催結果について

平成30年2月23日
行財政改革局業務効率推進課

県内事業者のPPP／PFI事業のノウハウ取得と案件形成能力の向上を図り、事業関与につなげることを目的として設置を検討している「PPP／PFI推進地域プラットフォーム」の設置準備会を下記のとおり開催しました。

記

- 1 日 時 平成30年2月14日(水) 午後3時から4時まで
- 2 場 所 倉吉未来中心セミナールーム3
- 3 出席者 行政(県、市町村)、経済団体、金融機関 計29名

4 概 要

(1) 地域プラットフォームの体制・検討対象について

平成30年5月頃を目処として、県内自治体、経済団体、金融機関で「鳥取県PPP／PFI推進地域プラットフォーム」を設置し、県及び市町村のPPP／PFI事業を検討対象事業とした上で、具体的な案件や制度の情報提供等を継続的に行っていくことを申し合わせた。

(2) 具体的案件の情報共有について

県及び市町村が現在検討中のPPP／PFI事業案件等について、関係者で情報共有を図った。

PPP・・・Public Private Partnership の略。官民連携のこと。公共的な社会基盤の整備や運営を、行政と民間が共同で効率的に行おうとする手法をいう。

※PPPの手法として、PFI、指定管理者制度、コンセッション方式などがある。

PFI・・・Private Finance Initiative の略。公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法をいう。

部落差別解消のための具体策の検討状況について

平成30年2月23日
人権・同和对策課
人権教育課

部落差別の解消の推進に関する法律（以下「解消法」という。）の施行（平成28年12月16日）を受け、鳥取県同和对策協議会において、部落差別の解消のための具体策について検討してきました。

このたび、同協議会として平成29年度の検討結果をまとめましたので、報告します。

なお、来年度も引き続き分科会を設け、具体策について協議・検討していきます。

1 検討経過

時期	会議	協議事項
平成29年5月29日	平成29年度第1回 総会	・協議会の体制拡充について部落差別解消に向けた取組の検討 →3分科会（教育・啓発、インターネット、当事者支援）の設置など
平成29年7月～10月	3分科会（各2回）	・解消法具体化に向けた取組について
平成30年2月1日	平成29年度第2回 総会	・各分科会における検討結果について ・平成29年度提案についてなど

【鳥取県同和对策協議会】

当事者団体代表、市町、隣保館代表、学識経験者等委員26名で構成

○会長：出脇 敏明（鳥取市人権教育協議会長）

○事務局：鳥取県人権・同和对策課、鳥取県教育委員会人権教育課

2 検討結果

- ・平成30年度は、早期に対応すべき課題について、以下の施策に取り組む。
- ・取組に当たっては、広く県民すべてを対象とし、行政機関及び団体等で役割分担し、連携協働を図る。

(1) 教育・啓発の充実

ア 部落差別問題学習資料の作成

- ・教員が授業の組み立てに使える学習資料を新たに作成する。
- ・一般向けの啓発資料としての活用も視野に入れる。
（内容）差別事例、人権学習の実践例、メディア・リテラシー（情報識別能力）等

イ 教員研修の充実策の検討

ウ 小地域懇談会の支援策の検討

- ・参加者増や研修内容の充実を図るため、市町村人権教育推進員研修の実施及び小地域懇談会の研修事例の情報共有を進める。
- エ 解消法の周知強化（平成30年度新規事業：部落差別解消推進事業（740千円））
 - ・交通広告、マンガ等による広報を新たに実施する。

(2) インターネット上の差別書き込み対策（平成30年度新規事業：部落差別解消推進事業（841千円））

ア インターネットモニタリングの実施

- ・インターネット上の差別書き込みの削除依頼、差別事例を収集・分析し啓発に利用する。

イ 講習会の開催

- ・行政職員、人権関係団体職員等を対象に、差別書き込みへの対応と注意点等に関する講習会を開催し、県内における対応体制を構築する。

(3) 被差別当事者への支援

ア 相談員の資質向上

- ・市町村、隣保館等の相談員の資質向上を図るため、カウンセラーによる専門研修など研修カリキュラムについて検討する。
- ・隣保館職員が研修に参加しやすいよう、研修会等の情報を一元管理し各隣保館に情報提供するなどの環境づくりを行う。

イ 隣保館コーディネーターの設置

- ・各隣保館と福祉関係機関（市町村福祉所管課、社会福祉協議会等）及び隣保館相互の連携強化を図る隣保館コーディネーターの設置について検討する。

ウ 差別の実態把握方法の検討

- ・部落差別の実態把握について、解消法に基づき国が行う実態調査の動向を踏まえながら、内容、方法について検討する。

首都圏アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」の運営について

平成30年2月23日

東京本部

販路拡大・輸出促進課

鳥取県と岡山県が共同で運営している「とっとり・おかやま新橋館」が開館後3年半経過したことから、その取組状況等について以下のとおり報告します。

1. これまでの取組状況

(1) 設置概要

ア) 所在地：東京都港区新橋一丁目11-7 新橋センタープレイス1、2階

イ) 面積：941.35㎡(1階354.01㎡、2階587.34㎡)

ウ) 設置時期：平成26年9月28日

エ) 主な機能：物販店舗、飲食店舗、催事スペース、観光・移住コーナー、ビジネスセンター

(2) 入館者数

入館者数は年間約50万人程度で漸増している。

区分	平成26年 (9月～12月)	平成27年 (1月～12月)	平成28年 (1月～12月)	平成29年 (1月～12月)
人数	159,202人	483,400人	503,234人	509,180人

(3) 売上金額

売上金額は年間3億5,000万円程度で漸増している。

区分	平成26年 (9月～12月)	平成27年 (1月～12月)	平成28年 (1月～12月)	平成29年 (1月～12月)
売上金額	101,206千円	343,661千円	351,500千円	354,692千円
うち物販店舗	75,464千円	251,310千円	263,549千円	267,497千円
うち飲食店舗	25,742千円	92,351千円	87,951千円	87,195千円

(4) 物販店舗の取組：1階

新鮮な果物や加工食品など、常時1,600品目を店内に陳列し、年間を通じて鳥取県と岡山県の旬を途切れることなく提供している。

【主な特産品販売・フェア開催の例】

1月：福袋(大山ハム、備前焼等)、2月：岡山野菜フェア、3月：レディースシーズフェア、4月：バルコスバッグフェア、5月：らっきょう販売、6月：スイカ販売、7月：白桃販売、8月：二十世紀梨販売、9月：新甘泉販売、10月：デニム販売、11月：親がに販売、12月：干し柿販売

(5) 飲食店舗の取組：2階

「鳥取和牛」、「紅ズワイガニ」、「スイカ」、「梨」などの鳥取県を代表する食材を使った様々なメニューや限定スイーツ、鳥取県の猪肉と岡山県の鹿肉を使ったジビエフェアなど、旬の食材や特色のあるメニューを提供している。

【特産品PRでの主なフェア例】

1月：バクチャーフェア、2月：ジビエ料理フェア、3月：鳥取県産きぬむすめフェア、4月：ご当地バーガー食べ比べ、5月：鳥取県産プリンスメロンパフェ(鳥取県イベント)、6月：スイカフェア、7月：白桃フェア、8月：ぶどうパフェ、9月：梨とぶどうのパフェ、10月：ねばりっこ、バクチャー料理講習会、11月：柿メニュー、12月：カニフェア

【主な鳥取県と岡山県のコラボ商品】

- ◆ももてなしソフトクリーム(二十世紀梨、白桃)
- ◆梨と桃のパフェ(二十世紀梨、白桃)
- ◆梨とぶどうのパフェ(二十世紀梨、ニューピオーネ、シャインマスカット)

(6) プロモーションゾーン：正面玄関入口右側

入館者の反応や生の声を聞きながら販売する「直接販売」の他、観光・特産品のPRや高校の学習体験などに利用できるスペースを提供している。

(延べ利用日数：全体813日、鳥取県関連463日)

【活用例(鳥取県分)】

- ・スイカ、梨等の旬の果物の試食販売
- ・すめ糍漬、二十世紀梨ゼリー、二十世紀梨ドライフルーツ等の加工食品の試食販売
- ・弓浜餅等の伝統工芸のPR販売
- ・倉吉農業高校、鳥取湖陵高校、米子南高校等による販売実習
- ・大山開山1300年祭、関金温泉開湯1300年等のPR

(7) 催事スペース：2階奥

物販やPRイベント、説明会などに使用できる多目的スペースを提供している。

(延べ利用日数：全体 822 日、鳥取県関連 410 日)

【活用例（鳥取県分）】

- ・らっきょう漬け方講習会、新麦で焼くお菓子づくり等の県産食品のPR
- ・大山ハム、すなば珈琲等の加工食品の試食販売
- ・鳥取西高校、米子工業高等専門学校、米子工業高校、米子東高校等の同窓会
- ・琴浦町、湯梨浜町、八頭町、岩美町等の市町村による物産展や移住・交流のイベント

(8) 観光・移住コーナー：2階

相談員が観光地や食、イベント等の両県の魅力をきめ細かく案内、移住の相談を受けている。

(延べ利用件数：全体 4,322 件、鳥取県関連 2,600 件)

(9) ビジネスセンター：2階

県内企業の首都圏における情報収集や販路開拓等の活動拠点として専用スペースを提供している。

(平成 30 年 1 月末時点での入居企業数は 5 社)

(10) 情報発信等

開館から首都圏マスコミ等への露出の累計 563 件

(内訳：テレビ 76 件、ラジオ 65 件、新聞・雑誌等 168 件、WEB 254 件)

2. 入館者からの声

※新橋館入館者アンケート結果（平成 29 年 11 月 10 日（金）、11 日（土）実施：回答 733 人）

(1) 主なアンケート数値

- ・ショップに満足している 物販店舗：95.9% 飲食店舗：91.6%
- ・2回以上来店している（リピーター率） 59.5%
- ・最初にショップを知ったきっかけ 通りすがり 62.3% ホームページ 8.9%等

(2) 主な意見

- ・駅から近く便利であり、また来たい。
- ・店内が広々として清潔感があり、明るくきれい。
- ・もっと両県の良いところを発信して欲しい。
- ・野菜や果物等の商品が新鮮。
- ・もっと商品説明を増やして欲しい。
- ・レストランのメニューの数がもう少し欲しい。等

3 共同した取組による効果

- 鳥取県と岡山県の2県による共同運営ができたことにより、JR新橋駅の銀座口前の良好な立地条件に940㎡を超える広い店舗面積で設置でき、その中に物販店舗、飲食店舗、観光・移住コーナー、ビジネスセンター、催事スペースを設け、両県の情報発信・販路開拓の拠点として機能を発揮した。
- 日本海側と瀬戸内海側という異なった風土により、両県の強みのある特産品（パクチー、らっきょう、スイカ、マグロ、白桃、ぶどう、かに等）を切れ目なく首都圏へ情報発信でき、併せて、お互い補う形で年間通じて旬の美味しい特産品やその他の特産品（鳥取和牛、千屋牛、ジビエ等）を使った料理を首都圏のお客様に提供できたことにより、年間通じて一定レベルの集客を維持することができた。
- 2県が共同運営している強みを生かし、両県の特産品を用いた梨と桃をコラボした「ももてなしソフトクリーム」、梨とぶどうをコラボした「梨とぶどうのパフェ」といったヒット商品の販売、両県の特徴を活かしたイベントや両県知事の販売促進活動等の魅力あるイベントによる差別化を図った情報発信で、相乗的に両県の知名度向上が図られた。
- これらの取組により、入館者の時期的な波の抑制や新規入館者の獲得が実現し、入館者年間50万人という高いレベルで推移した。

4 今後の進め方

平成 31 年 3 月末で運営事業者との委託契約及び不動産賃貸借契約の期限が到来することから、これまでの実績を踏まえ、首都圏において、さらなる販路開拓や情報発信に向けた取組を行うため、平成 31 年度以降においても現在の店舗で、岡山県との共同により首都圏アンテナショップを継続する方向で検討を進める。

首都圏アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」の取組状況について

1 概要

- (1) 住 所：東京都港区新橋一丁目11-7
新橋センタープレイス1、2階
- (2) 面 積：941.35㎡（1階354.01㎡、2階587.34㎡）
- (3) 設 置 者：鳥取県、岡山県
- (4) 設置時期：平成26年9月28日



2 設置の趣旨等

(1) 趣旨・目的

首都圏の消費者に、山陽と山陰の異なる歴史風土や歴史文化に培われた両県産の特色ある食材・食品その他の特産品を一堂に展示・紹介することにより、相乗的に顧客満足度の向上と産地側のアピール力の向上を図る。

アンテナショップを首都圏における両県産品や観光、移住等に関する総合的な情報受発信の拠点として、観光客入込数の増加や県産品の販路拡大、I J Uターンの促進等に資する。

(2) 主な機能

ア 物販店舗	両県の優れた食材・食品その他の特産品の個性・魅力を展示・紹介・販売
イ 飲食店舗	両県の旬の食材を使った料理、地酒の提供
ウ 催事スペース	両県の市町村や事業者、関係団体等が、それぞれの物産の製作実演や試食販売、独自の文化・芸能の公演、観光や移住に関するイベント等を開催
エ 観光・移住コーナー	両県の観光・移住等に関する説明・案内や情報提供、相談対応等
オ ビジネスセンター	両県企業の首都圏における情報収集や販路拡大などの活動拠点を提供

(3) 運営組織

物販店舗及び飲食店舗：株式会社稲田屋本店

催事スペース等：鳥取県・岡山県共同アンテナショップ運営協議会

3 利用状況

(1) 入館者数

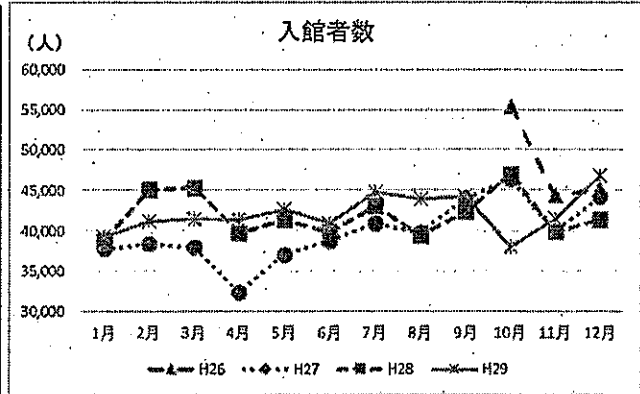
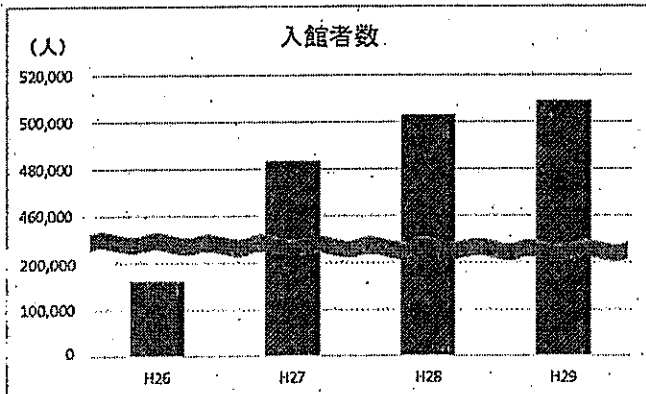
入館者は年間約50万人、月間約4万人前後で漸増している。

平成27、28年とも4月は入館者が落ち込んだことを踏まえ、平成29年4月には人気のあるイベント（マスクingtapeフェア、バルコスフェア）を実施し落ち込みの波を押さえた。

平成29年10月の入館者数は、週末2度の台風で落ち込んだが、その後は例年を上回った。

※開館からの入館者の累計（平成29年12月末現在） 1,655,016人

区 分	平成26年 (9月～12月)	平成27年 (1月～12月)	平成28年 (1月～12月)	平成29年 (1月～12月)
人 数	159,202人	483,400人	503,234人	509,180人



(2) 売上金額

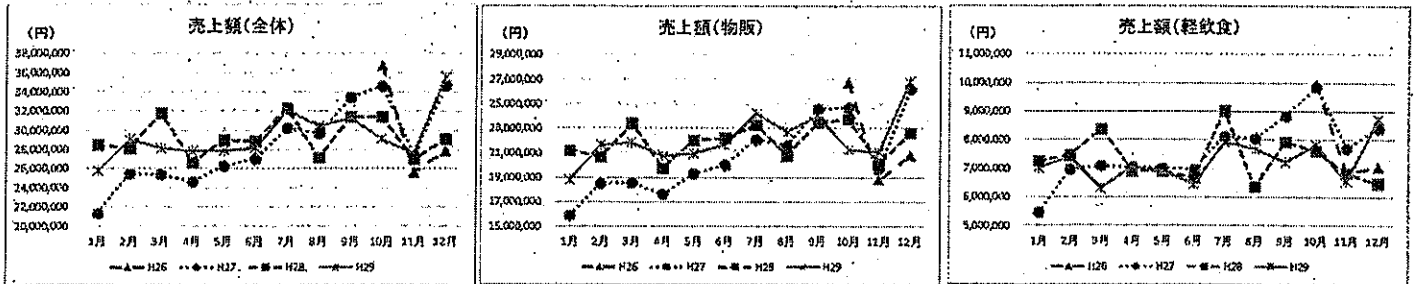
売上金額は年間3億5,000万円程度で推移している。

両県の強みのある特産品を切れ目なく提供していることから、年間通じて大きな波がなく販売できている。

※開館からの売上金額の累計(平成29年12月末現在) 1,151,606千円

(うち物販店舗 857,820千円、飲食店舗 293,786千円)

区分	平成26年 (9月～12月)	平成27年 (1月～12月)	平成28年 (1月～12月)	平成29年 (1月～12月)
売上金額	101,206千円	343,661千円	351,500千円	354,692千円
うち物販店舗	75,464千円	251,310千円	263,549千円	267,497千円
うち飲食店舗	25,742千円	92,351千円	87,951千円	87,195千円



ア 1階 物販店舗の状況

新鮮な果物や加工食品など、常時約1,600品目を店内に陳列し、年間を通じて鳥取県と岡山県の旬を途切れることなく提供した。

◆売場面積: 265.31㎡ (チャレンジ商品特設コーナー (短期間の試験販売が可能) 含む。)

◆営業時間: 10時～21時

(ア) 登録取引事業者数・登録取引商品数(鳥取県分)

※平成26年9月28日～平成29年12月31日までの累計値

事業者数/商品数	内 訳		
	生鮮品	加工食品	非食品
439社	78社	282社	79社
2,396品目	144品目	1,646品目	606品目

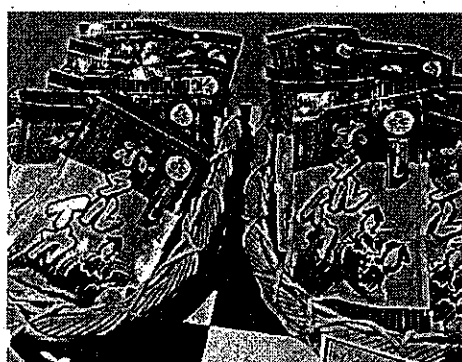
(イ) 取引商品数(鳥取県分) ※平成29年12月末現在

商品数	内 訳		
	生鮮品	加工食品	非食品
735品目	42品目	594品目	99品目

(ウ) 人気商品(鳥取県分) ※平成29年12月分

順位	品 目	販売個数
1位	ポテトチップス珈琲味	813個
2位	干し柿	638個
3位	とうふ竹輪	515個
4位	生干しホタルイカ	444個
5位	北条あんぱ柿	361個

※「とうふ竹輪」、「生干しホタルイカ」は通年通じて人気のある商品



(エ) 主な特産品販売・フェアの例

区分	フェア概要
1月	福袋(大山ハム、備前焼等)
2月	岡山野菜フェア
3月	レディースシーズフェア、子どもデニムフェア
4月	マスキングテープフェア、バルコスパックフェア
5月	根付きらっきょう、洗いらっきょう販売
6月	生らっきょう、スイカ販売、らっきょう漬け方講習会
7月	白桃販売、境港産直送本マグロ1本まるごと解体ショー
8月	二十世紀梨販売、備前焼ピアマグ&ビール祭
9月	新甘泉販売、ニューピオーネ、シャインマスカット販売
10月	津山ファクトリーフェア(デニム、ネクタイ)
11月	親がに販売
12月	干し柿販売

イ 2階 飲食店舗

「鳥取和牛」、「紅ズワイガニ」、「スイカ」、「梨」などの鳥取県を代表する食材を使った様々なメニューや限定スイーツ、鳥取県の猪肉と岡山県の鹿肉を使ったジビエフェアなど、旬の食材や特色のあるメニューを提供している。

◆店舗面積：98.36㎡(席数50席)

◆営業時間：11時～22時

(ア) 提供メニュー例、鳥取県産食材

メニュー	主な県産食材
紅ずわい蟹重	ベニズワイガニ
鳥取和牛の煮込みハンバーグ	牛肉
大山どりのクリームドリア	鶏肉、牛乳
大山ハムとソーセージの盛り合わせ	ハム、ソーセージ
ののこめし	米、油揚げ、しいたけ、にんじん

(イ) 特産品PRでの主なフェアの例(提供メニュー)

区分	フェア(メニュー)内容
1月	正月限定商品(小豆雑煮、ぶり雑煮) パクチーフェア(大山鶏のパクチーパン粉焼き、牛すじ肉とパクチーのソテー等)
2月	ジビエ料理フェア(シカロース煮、イノシシとキャベツのソテー等)
3月	鳥取県産きぬむすめフェア
4月	ご当地バーガー食べ比べ(鳥取和牛バーガー、岡パクチキンバーガー等)
5月	星取県コラボ企画オリジナルパフェ販売(鳥取県産プリンスメロンパフェ)
6月	スイカフェア(スイカパフェ、スイカピザ等) 境港産直送本マグロフェア(鮪のお造り盛り合わせ、鮪の鉄火丼等)
7月	白桃フェア(白桃パフェ、白桃コンポート&ジュレ、白桃レアチーズ等)
8月	ぶどうパフェ
9月	梨とぶどうのパフェ(二十世紀梨、ニューピオーネ、シャインマスカット)
10月	ねばりっこ、パクチー料理講習会
11月	柿メニュー(柿のプリン、柿のタルト、柿とクリームチーズ等)
12月	カニフェア(紅ズワイ蟹握り、紅ズワイ蟹のリゾット、紅ズワイ蟹の生春巻き等)

(ウ) 主な鳥取県と岡山県のコラボ商品

◆ももてなしソフトクリーム(二十世紀梨、白桃)

◆梨と桃のパフェ(二十世紀梨、白桃)

◆梨とぶどうのパフェ(二十世紀梨、ニューピオーネ、シャインマスカット)

4 イベント等

(1) 1階 プロモーションゾーン

入館者の反応や生の声を聞きながら販売する「直接販売」の他、観光・特産品のPRや学校の学習体験に利用できるスペースを提供している。

- ◆面積：5.00㎡
- ◆利用時間：10時～18時
- ◆利用料：2,000円/日

ア 利用日数（延べ利用日数：全体813日、鳥取県関連463日）

区分	平成26年 (9月～12月)	平成27年 (1月～12月)	平成28年 (1月～12月)	平成29年 (1月～12月)
利用日数 (全体)	68日	266日	256日	223日
利用日数 (鳥取県分)	48日	158日	134日	123日

イ 活用例（鳥取県分）

- ・スイカ、梨等の旬の果物の試食販売
- ・するめ糍漬、二十世紀梨ゼリー、二十世紀梨ドライフルーツ等の加工食品の試食販売
- ・北条ワイン、ねばりっこの焼酎、ブルーベリーワイン等の試飲販売
- ・弓浜紺等の伝統工芸のPR販売
- ・倉吉農業高校、鳥取湖陵高校、米子南高校等による販売実習
- ・鳥取県商工会連合会、琴浦町、湯梨浜町等の県産品、観光地等のPR
- ・大山開山1300年祭、関金温泉開湯1300年等のPR

(2) 2階 催事スペース

物販やPRイベント、説明会などに使用できる多目的スペースを提供している。

- ◆面積：88.40㎡
- ◆利用時間：10時～20時
- ◆利用料：全日（10時～20時）の場合 県内・非営利 6,400円 県内・営利 12,800円

ア 利用日数（延べ利用日数：全体822日、鳥取県関連410日）

区分	平成26年 (9月～12月)	平成27年 (1月～12月)	平成28年 (1月～12月)	平成29年 (1月～12月)
利用日数 (全体)	55日	236日	271日	260日
利用日数 (鳥取県分)	32日	121日	130日	127日

イ 活用例（鳥取県分）

- ・らっきょう漬け講習会、新麦で焼くお菓子づくり等の県産食品のPR
- ・大山ハム、すなば珈琲等の加工食品の試食販売
- ・因州和紙、弓浜紺等の伝統工芸のPR販売
- ・氷温セミナー、鳥取砂丘検定等の鳥取県に係わる学習の場
- ・鳥取西高校、米子工業高等専門学校、米子工業高校、米子東高校等の同窓会
- ・琴浦町、湯梨浜町、八頭町、岩美町等の市町村による物産展や移住・交流のイベント
- ・県観光連盟の観光情報説明会
- ・ふるさと鳥取県定住機構の移住相談会
- ・星取県、蟹取県等のメディア発表会

5 観光・移住等

(1) 2階 観光・移住コーナー

相談員が観光地や食、イベント等、両県の魅力をきめ細かく案内している。
移住相談の他、ふるさと納税に関する問い合わせにも対応している。

◆利用時間：10時～18時

ア 利用件数（延べ利用件数：全体4,322件、鳥取県関連2,600件）

区 分		平成26年 (9月～12月)	平成27年 (1月～12月)	平成28年 (1月～12月)	平成29年 (1月～12月)
利用件数 (全体)	観光関連	216件	865件	1,211件	1,198件
	移住関係	40件	115件	128件	98件
	その他	56件	116件	151件	128件
	計	312件	1,096件	1,490件	1,424件
利用件数 (鳥取県 関連)	観光関連	141件	507件	763件	761件
	移住関連	11件	40件	52件	35件
	その他	31件	82件	90件	87件
	計	183件	629件	905件	883件

イ 主な相談内容

(ア) 観光関連

- ・先日のテレビ番組で鳥取の星空がとても綺麗と知り、鳥取へ旅行しようと考えている。砂丘の他に観光地はどこが良いのか？（60代女性）
- ・相談窓口の大型スクリーンで大山の映像を見てとても興味を持った。場所はどこか。（60代女性）
- ・大山開山1300年祭に関心があり、大山に関する情報が欲しい。（60代女性）
- ・(岡山県出身者) 帰省の際に岡山県近郊を観光で巡っている。鳥取で子どもの楽しめるような場所を教えて欲しい。（40代女性）
- ・妻木晩田遺跡、上淀白鳳の丘展示館等、旅行前に情報を詳しく教えてもらったので効率良く回ることができた。石馬や岩屋古墳まで見ることができ感激した。アンテナショップで相談してとても良かった。（50代男性）

(イ) 移住関連

- ・仕事の関係で鳥取へ出張したことがあるが、土地柄がとても気に入ったので移住したいと思うが仕事はあるのか？（50代男性）
- ・現在、関東地方で仕事をしているが住み慣れた中国地方に移住を考えている。定年後に移住するかその前に仕事を見つけ移住するか検討中。物価や就職先はどうなのか？（50代男性）
- ・子どもの中学校進学に合わせて鳥取（智頭町）への移住を考えている。鳥取へ行き事前確認・準備を行いたいので、エアサポートを利用したい。（40代女性）

6 ビジネス支援等

(1) 2階 ビジネスセンター

県内企業の首都圏における情報収集や販路開拓等の活動拠点として専用スペースを提供している。

◆1区画3.3㎡のレンタルブース（両県各8ブース）

◆机、椅子、デスクサイドワゴン、専用ロッカー

ア 利用件数

開館からの利用延べ企業数（鳥取県分） 18社（うち長期利用 12社 短期利用 6社）

区 分	3年超利用	3～1年利用	1年未満	短期（1日以下）
利用企業数	2社	10社	0社	6社

※平成30年1月末時点での入居企業数は5社

7. 情報発信等

ア 開館から首都圏マスコミ等への露出の累計 563件 (把握できたもの)

(内訳：テレビ76件、ラジオ65件、新聞・雑誌等168件、WEB254件)

区分	平成26年 (9月～12月)	平成27年 (1月～12月)	平成28年 (1月～12月)	平成29年 (1月～12月)
マスコミ露出件数	38件	230件	130件	165件

イ メールマガ登録・ホームページ閲覧件数等 (平成29年12月現在)

区分	件数
ホームページ閲覧数	2,464,534件
ダイレクトメール送付登録数	4,923件
メールマガジン登録数	2,000件
Facebook いいね数	4,805件

ウ 主な番組等

(ア) テレビ

フジテレビ「めざましテレビ」、日本テレビ「ニュース エブリイ」「ヒルナンデス」、
テレビ朝日「スーパーJチャンネル」、テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」等

(イ) 新聞、雑誌

読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、日本経済新聞、東京新聞、日本農業新聞、
オレンジページ、旅の手帳、東京人、大人の週末、メトロガイド、旅行読売等

8. 入館者からの声

※新橋館入館者アンケート結果 (平成29年11月10日(金)、11日(土) 実施：回答733人)

(1) 主なアンケート数値

○ショップに満足している

〔物販店舗 95.5% (品揃え、価格、店員の対応、店内の雰囲気)

飲食店舗 91.6% (メニュー、味、価格、店員の対応、店内の雰囲気)

○2回以上来店している (リピーター率) 59.5%

○最初にショップを知ったきっかけ

〔・通りすがり：62.3% ・ホームページ：8.9% ・テレビ等：8.5% ・口コミ：5.8%
・SNS：2.6% ・ダイレクトメール：1.3% 〕

(2) 主な意見

ア 店舗全体

- ・駅から近く便利であり、また来たい。
- ・店内が広々として清潔感があり、明るくきれい。
- ・もっと両県の良いところを発信して欲しい。
- ・二つの県が一緒になっていて、同時に商品が見られて楽しい。
- ・鳥取、岡山を好きになるきっかけが新橋館だった。
- ・大きな看板等があれば良いのではないかな。
- ・新しい特産物やふるさと納税の情報を充実させてはいかかか。

イ 物販店舗 (1階)

- ・野菜や果物等の商品が新鮮。
- ・もっと商品の説明を増やして欲しい。
- ・他のアンテナショップと比べ品揃えが豊富で、歩きやすく商品が見やすい。
- ・イートインコーナーで一休みできるのは良いが、コーナーで食べられるものの種類をもう少し増やして欲しい。
- ・お土産のようなものばかりで、普段づかいのものが少ない。
- ・試食、試飲を増やすと良い。
- ・鳥取、岡山といった商品を定期的に前面に押し出して欲しい。

ウ 飲食店舗 (2階)

- ・レストランのメニューの数がもう少し欲しい。
- ・レストランは個性的、アイデアがあり良い。

